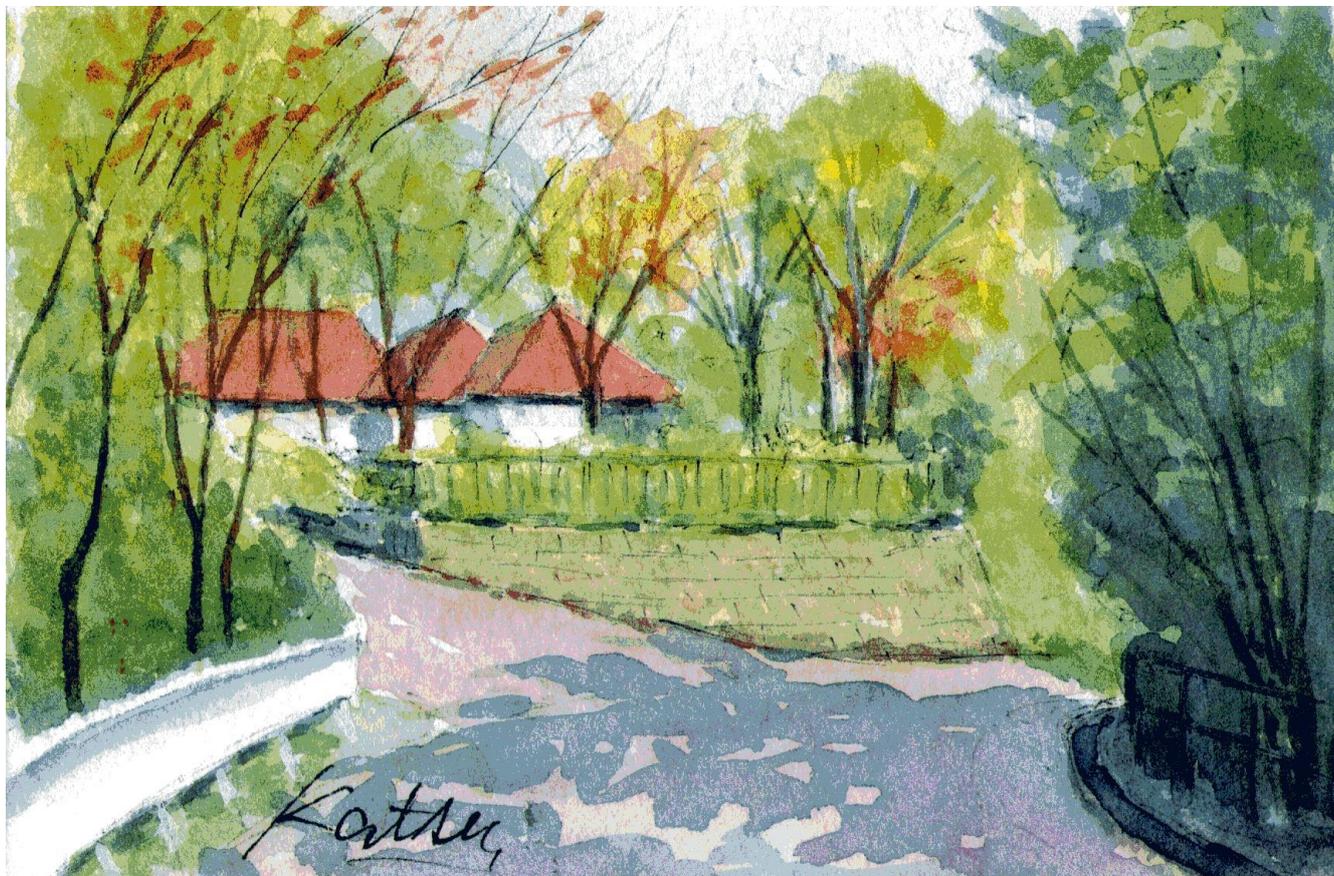




ゴロスケ報々



●「望年会」のお知らせ●

共催行事のお知らせ

恒例の「望年会」が下記の通りに開催されます。

今年最後のイベント、暮れの忙しい時ですが奮ってご参加下さい！！

1. 実施日：平成28年12月23日(金・祝) 少雨決行
2. 会場：観察センター&ごろすけ館前
3. 集合：午前9:00
4. 参加資格：友の会会員並びに家族
5. 服装他：多少よごれても良い物、飲み物、軍手

担当：事務局 / 片岡

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●11月定例会報告●

日時 2016年11月20日(日) 13:00~15:00

出席者 青木、大浦、落合、片岡、関根、高橋(む)、谷垣、次田、中里、村松、山口、山路、吉田、渡部、掛下R、古南R

1. 行事報告

9月中旬から11月上旬の行事広告をおこないました。
やや雨が多かったものの、予定通りに実施しました。

2. 行事予定

11月中旬から2月上旬の行事を確認しました。
年間行事予定通りです。

3. ごろすけ館の利用調整をおこないました。

4. 事務局より

- ・秋まつりの報告をしました。例年に比べ、多数の申し込みがありました。副題や内容について、今後考える必要があるようです。皆様のご意見をお願いします。
- ・金沢いきいきフェスタの報告をしました。天候に恵まれ、多くの来場者がありました。
- ・望年会の内容を検討しました。
- ・会計の中間報告をおこないました。
- ・その他
新入会者が1名ありました。

5. センターより

センターのページをご覧ください。

次回定例会は
1月15日(日) 13:00~
観察センター研修室
※定例会は会員の方どなたでも
参加できます。

●11月理事会報告●

日時 2016年11月20日(日) 9:35~12:15

出席者 青木、秋元、大浦、落合、片岡、志釜、関根、中里、中塚、村松、吉田、山口、古南R、掛下R (欠席:漆原)

1. 中間報告

- ・事業(計画通り実施。開園30周年に協力。秋まつりに親子が多数参加)及び会計(会員数微増)について中間報告がありました。
(次年度に様子を伝える効果もあるためブログでのイベント事後報告が必要)

2. 次年度事業方針

- ・総会・秋まつり・望年会の日程(4月2日、10月22日、12月23日)を確定しました。
- ・友の会設立30周年に向けて記録誌・イベント・絵葉書について検討しました。
- ・前期に友の会の課題整理・方策検討、後期に具体的準備とすることを確認しました。
- ・森ボラ・各PJ行事の開催日等は現年度と同様とすることを確認しました。
- ・出席しやすいよう、5月から、定例会9時~、理事会11時~とすることを確認しました。

3. 安全管理

- ・次年度講習会について希望集約し、次回方針決定します。
- ・事故等なかった旨、報告がありました。

4. その他(特になし)

<次回理事会>

日時 1月15日(日)
9:30~12:00

場所 自然観察センター研修室

- 議題
- 1 次年度計画
 - 2 定期総会準備
 - 3 利用推進会議(後期)
 - 4 安全管理
 - 5 その他

きれいな水って???

前回、私が担当した時「飲み水の話」と題し、水道水のことを書きました。水道水は飲料水を介した感染症を防ぐため、塩素による消毒をしていること、しかし、同時に塩素による消毒はカルキ臭やトリハロメタン生成のリスクを抱えていることを書いたと思います。今回もそれに引き続いて水道のことを書こうと思っていましたら、自然や観察の森に関係ある話でとの制約ができましたので、ちょっと方向を変えてみます。当然覚えていないと思いますが、前回の最後に河川や湖沼の汚濁について触れました。今回はその辺のことを書いてみます。

ところで皆さんは「きれいな水」と言うときどのようなものを思い浮かべるでしょうか？飲むこともできる湧き水？イワナやヤマメが泳ぐ溪流の水？青く澄んだサンゴ礁の水・・・それぞれにイメージがあるのではないのでしょうか？でもこうしたイメージには、きれいな水が二通りあるように見えます。一つは、魚など多様な水生生物が生息可能な生物多様性を誇る水環境を構成する水です。もう一つは、「水清ければ魚棲まず」のことわざにもある通り、皆さんが消毒しなくても飲んでお腹を壊さないような水です。こちらの水には、棲めるような水生生物の種類は限られるため、生物多様性という観点から見ると真逆のように見えます。しかし、よく考えると雨が地下に浸透し地下水となり、それが湧き水となって地表に現れ川となり、周囲の環境の影響を受け栄養を蓄えながら生物相が豊かになりそして海へと注ぎ、海もまた陸からの恵みを受け豊かになる、さらに海の水は水蒸気となって・・・こうした水の循環と生物の営みが調和したとききれいな水と人は感じるのかもしれないね。

一方で汚れた水というと下水なんかを連想されると思います。いわゆる水の汚濁の指標として BOD（生物化学的酸素要求量）とか COD（化学的酸素要求量）といった言葉を、皆さんも見聞きしたことがあるかと思います。BOD や COD が高い水というのは、有機物を多く含んだ水のこと、まさに下水はこれにあたります。有機物が微生物によって分解される時、水の中の酸素を消費します。つまり、有機物量が多いと多くの酸素が消費されるため、水中の酸素を頼りとしている多くの水生生物は生きられなくなるというわけです。汚れた水で生物多様性が低いのは、低酸素状態でも生きられる生物しか棲めないためです。でも、有機物やそれを分解する微生物の存在が悪いというわけではありませんよ。有機物の分解物がまさに栄養であり、多くの生物の生きる糧です。有機物も低すぎればまた、生物は棲めないのです。

現在は下水道の普及も進み、有機物による汚濁は減り、多くの河川に生き物が戻ってきたと言われていています。でも赤潮とか青潮って・・・紙面がないのでまた別の機会に譲ります。横浜自然観察の森でも湧き出した水が周囲の森によって豊かな水環境を形成していく姿を観察できます。そんな観点から水を見直していただけたら幸いです。

By Minoru Aoki

●定例行事の報告「自然と遊ぼう」●

10月22日（土）

うす曇りで、森はちょっと涼しく感じるお天気です。

さて今日のテーマは「くっつき虫で遊ぼう」です。

皆でお散歩しながら道端の草むらをタオルでなでたり、蹴とばしたりすると、みるみるうちに「ひっつき虫」があつまります。

皆でどんな「ひっつき虫」が採れたか見せあいました。

ならべてみて、ルーペでのぞいて、絵をかいてみました。

「ねばねば」や「引っかかる」ものや「刺さる」ものなど、いろんな引っつき方があるのがわかりました。

最後に、着ていたものに引っ付いたまま、この森の外に持ち出さないで、お家で洗濯するひとに迷惑かけないように良く落として帰りましょう。

何故引っつき虫たちは引っ付くのか、草木たちの生きるための工夫を考えながら楽しく遊んだのでした。

友の会活動報告

●森の作業体験 報告●

木の伐倒体験

9月24日（土）参加者 大人1人、子供1人

アキアカネの丘のシラカシの伐倒体験会に参加していただきました。お母さんと息子さん2人です。3人とも木の伐倒は初めてとのことでしたが、ZFC指導員に切り方をならい、切り進めていくうちに慣れて、約30cmの幹を切り伐倒できました。午後は火越し、コースターづくりにも挑戦しました。3人ともようでした。

雑木林ファンクラブ

●金沢まつりいきいきフェスタ出店報告●

10月15日（日）に金沢区の海の公園で、金沢いきいきフェスタが開催され、「横浜つながりの森コーナー」に友の会としてブースを出しました。今年で4回目の出店で、スタッフは5人です。

素晴らしい秋晴れの中、友の会のブースにも大勢の人が訪れました。まずブースの前に設置した望遠鏡を覗いて（偽の）カワセミを見てもらい、ブースの中で観察の森で撮られた写真の説明や、友の会活動の紹介、図鑑で野鳥の声を聴いてもらうなど、休む間もなく対応しました。

観察の森に行ったことのない方もたくさんいることがわかり、今回、多くの人に観察の森や友の会の存在を知ってもらったのは良かったと思います。

今回のスタッフは、鳥くら、遊ぼう、絵本、定点カメラからのメンバーでしたが、メンバーの所属するプロジェクトに関連した展示や説明（例えば森の絵本など）ができると、スタッフのやりがいもより増すものと感じました。

定点カメラで動物調査 渡部

●秋まつり 報告●

参加者 26名（申し込み承諾 41名 事前・当日キャンセル15名）
参加者はすべて小さなお子さん連れのご家族でした。

参加会員 30名

参加PJ 畑、カワセミファンクラブ、森の絵本を描く会、自然と遊ぼう、鳥のくらし発見隊、ハンミョウの会、定点カメラで動物調査、雑木林ファンクラブ

研修室での観察の森、友の会の概要説明のあと、全員で畑へ。里芋、サツマイモの収穫を体験しました。

その後、3つのグループに分かれて、各PJの体験へ。昼食後はごろすけ館前で木材を切り、コースター作りをおこないました。

参加者のアンケートから、皆さんに友の会の活動を理解していただき、楽しく活動していただけたようです。

当日の友の会会員申し込みはありませんでしたが、「また行事に参加したい」という声が聞かれました。

参加された理事の方、PJの皆さん、どうもご苦労様でした。

事務局 中里

●自然案内人講座 報告●

「いつでも、どこでも、身近な自然の案内人講座」報告

1. 日時：2016年11月5日、6日 9時30分～16時
2. 参加者：スタッフ5名、参加者 5名（友の会1名）

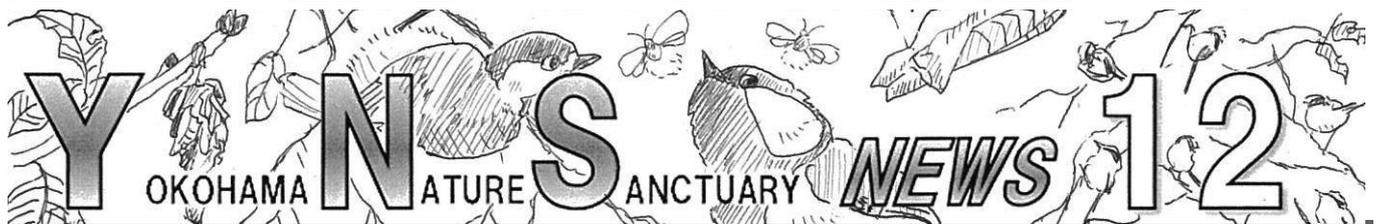
横浜市内と山梨県からの参加者を迎えて、生きものたちのくらしやそのつながりを伝える自然案内「インタープリテーション」を体験する2日間の講座を行いました。

1日目はフィールドで自然のメッセージを受け取ります。初めに一人で歩いていたときに気付かなかったものが、五感を使ったり、時間の変化を感じとったりすることで、多様な視点で自然からのメッセージを受け取ることができるようになりました。

2日目は受け取った自然のメッセージを、他の人に分かりやすく伝える（気付いてもらう）ストーリーを考えます。参加者が素材として選んだのはジョロウグモ、ガマズミ、ヤツデでした。そして、午前中に練習した成果を午後の”季節の森を歩こう”の来園者に実演してもらいました。「伝えるのってむずかしい」と感じながらも、来園者と会話のキャッチボールをしながら秋の観察の森の素晴らしさを分かち合うことができました。

自然の中で感動し、それを人に伝えて共有できる仲間が増えたことを嬉しく思います。

ハンミョウの会 池田



お知らせ・お願い



★工事と作業の予定

環境管理のため、造園業者さんに委託して次の作業を行っています。園内の生物に極力影響が出ないように進めていますが、お気づきのことやご要望があれば、レンジャー古南、黒川までご連絡ください。

- 草刈・ササ刈り：コナラの道 6～18 と 19 付近、ミズキの道 2～3 と 13～終点、長倉口、タンポポの道 10～終点、水鳥の池への通路
- 立枯れ等危険木・緊急自動車通行用の伐採：ミズキの道・タンポポの道沿い 7ヶ所、長倉口
- 横浜市南部に本来自生しない木や竹の伐採：コナラの道周辺のモウソウチク、アキアカネの丘・タンポポの道沿い等のトウネズミモチ、サトザクラ等、長倉口のクスノキ等、桜林（下記）
- その他：低木剪定（霊園口階段ぞい）、側溝・横断溝泥上げ（ミズキの道、コナラの道）、水路泥上げ（ハイケボタルの湿地、ゲンジボタルの谷）、シャガ・セキショウ除去（ゲンジボタルの谷）
- ◇ピクニック広場の水道施設の耐震工事は、工期が延長されました。3月末まで使用できません。
- ◇何かとご不便をおかけしますが、利用者の皆さんの利便性・安全性向上と環境の改善のための作業ですので、ご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

保全管理フォローアップの会



★報告 第4回 12月3日(土) 13:00～15:00

- 参加者 友の会 9名（上原明子さん、大浦晴壽さん、落合道夫さん、片岡章さん、佐々木美雪さん、篠原由紀子さん、関根和彦さん、藤原功さん、山田靖彦さん）
横浜市（藤田智さん）、レンジャー（古南幸弘、掛下尚一郎、黒川麻紀野）
- 内容 今年度の桜林の植生管理計画を確認しました。桜林に残っている自生種でない 27 本を伐採する計画に対し、配置や次世代の若木の育成を考え、アカシデ 1 本、クスノキ 1 本、コブシ 2 本は先送りしました。また、一昨年度、高い位置で伐って萌芽させたシラカシ 3 本については再度根元から伐ることになりました。この結果、ソメイヨシノ、シラカシ、ヤマモモ等 26 本となりました。
この伐採とテングス病処理（焼却）のための剪定を 12 月～3 月に市が委託した造園業者さんにより実施します。伐った材の一部は、雑木林ファンクラブの皆さんに木工や炭焼きに活用していただきます。伐採跡には、ヤマグワやエノキ、ウワミズザクラ、ケンボナシ等の若木を育てていく予定です。

★次回予告 1月7日(土) 13:00～16:00 保全管理の勉強会

テーマ「観察の森に暮らす鳥たちの 30 年」

講師：藤田剛さん（東大・助教）

観察の森ではレンジャーが中心になって、一定のコースで鳥の数を数える「ラインセンサス」という調査を開園以来継続して行なっています。昨年から、その 30 年にわたる調査結果が、ようやく論文という形にまとまり始めました。そのリーダー役を務めてくださっている元レンジャーでもある藤田剛さんから、観察の森の鳥相の特徴と長期的な変化、それを踏まえた生息地管理のあり方についてお話しいただきます。後半は、かんたんな実習を通じて、鳥の調査を環境管理に役立てる方法について体験します。環境管理にご興味、ご意見をお持ちの方や、鳥の調査に興味をお持ちの方はどなたでもご参加ください。

- ◎資料の準備の都合上、ご出席いただける方は前日までに古南、黒川までご連絡ください。
- ◎野外観察に出かけられる服装でおいでください。双眼鏡をお持ちの方はご持参ください。

30周年記念トークショーへのご協力、ありがとうございました！

10月10日、中区の開港記念会館でトークショー「森へ行こうー横浜自然観察の森の楽しみ方」を開催いたしました。この行事は、観察の森を飛び出し、森に来られた経験の少ない方々にアピールする企画でしたが、幸い、定員をはるかに上回るお申込みをいただき、当日は345人ものお客様を迎え致しました。

プログラムは、日本野鳥の会会長で俳優の柳生博が「野良仕事」の楽しさと効用を語る第1部の後、第2部で森の楽しみを知る達人として友の会の大浦晴壽さん、イラストレーター・絵本作家の東郷なりささん、新進気鋭の写真家、佐藤岳彦さんをお迎えし、森に遊び学ぶ楽しさを思い思いにお話しいただきました。

友の会からはステージと客席以外に、裏方としても10人の方々にボランティアとしてご協力いただき、おかげさまで多くのお客様にご満足いただくことができました。ほんとうにありがとうございました。

30周年記念展示<後期>が始まりました！

「観察の森ができて30年、森のくらしはいかがですか？」と、森の生きものたちへインタビュー。住みやすいな、こうして欲しいな、さまざまな声がありました。その様子を展示しています。

3月末まで継続予定。ご覧ください。

作成にあたって、関連プロジェクトのみなさまにご協力いただきました。ありがとうございました。

ボランティアさん

10/6~12/4

ありがとうございます

- 10/10 開園30周年トークショーにご協力いただいたみなさま
- 10/12 雑木林ファンクラブ 野外トイレの前の犬つなぎ場の看板を作成設置
- 10/23 雑木林ファンクラブ 神奈川大学学生に炭小屋を案内
- 10/20 カワセミファンクラブ 大浦晴壽さん 企画展示用の野鳥写真のご提供
- 10/29 カワセミファンクラブ 板垣昭平さん 企画展示用の野鳥写真のご提供
- 10/29 雑木林ファンクラブの皆さん CSR活動(三菱UFJ信託銀行)の作業指導
- 11/2 雑木林ファンクラブの皆さん センターのストープ用の薪のご提供
- 11/5 中里幹久さん 田中さん親子 栄区民まつり出展へのご協力
- 11/12 雑木林ファンクラブ リヤカーのパンク修理準備
- 11/15 カワセミファンクラブ・野草の調査と保護・PJ-STRIX・定点カメラで動物調査の各プロジェクトのみなさま 企画展示へのご協力
- 11/25 雑木林ファンクラブの皆さん CSR活動(東芝メモリシステム株式会社)の作業指導
- 11/25 カワセミファンクラブの皆さん 積雪時の巡回と倒木情報の提供
- 10/5~ カワセミファンクラブの皆さん: 展示用野鳥・昆虫写真、自然情報のご提供
- 10/5~ 野草の調査と保護プロジェクトの皆さん: 開花情報のご提供

横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892 E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

<http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/> イラスト: 大久保香苗

年末年始の休館日のお知らせ

2016年12月28日(水)~2017年1月4日(水)の期間、自然観察センターはお休みをいただきます。新年は1月5日(木)から開館します。

旧年は大変お世話になりました。新しい年もどうぞよろしくお願いいたします。

行事スケジュール 12月～2月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●

●望年会

12/23(金・祝) 少雨決行
集合：午前9：00
場所：観察センター&ごろすけ館前
対象：友の会会員並びに家族
服装：多少よごれても良い服装、軍手
→1ページ参照

●自然観察センター主催行事●

■【親子でバードウォッチング～冬の森で鳥をさがそう～】

冬の森でいろいろな野鳥を観察します。初心者でも双眼鏡の使い方からお教えします。
双眼鏡貸出あり。

日時：1/29(日) 10時～13時半(雨天決行)
対象：6歳～中学生とその保護者30名(抽選)
申込締切：1/17(火)
申込方法：電子メール、FAX、往復はがきで
①イベント名と日時
②参加者全員の名前
③お子様の年齢
④代表者の連絡先電話番号
⑤FAXの時はFAX番号、往復はがきの時は返信先住所氏名
⑥どこでこのイベントを知ったか

●共催 定例行事●

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜
～友の会の活動内容紹介とルールを～
2/19(日) 9：30～14：00 雨天催行
受付：直接、自然観察センターの研修室へ
対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴
*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

●友の会 定例行事●

●季節の森を歩こう(園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～
1/8(日)・2/5(日)
1回目 11：00～ 2回目 13：00～
受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：どなたでも
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～
1/8(日)・2/12(日)
9：00～13：00 少雨決行
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～
1/18(水)・2/15(水)
10：30～12：00 絵本製作
受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも
担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～
1/21(土)・2/18(土)
10：00～12：00 雨天中止
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも
担当：畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜日

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～
1/28(土)・2/25(土)
1回目 13：00～ 2回目 14：00～
受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：子どもから大人までどなたでも
担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜

発行日 2016年12月18日
発行 横浜自然観察の森友の会
FAX 045-894-8892
E-mail: kansatsunomori@gmail.com